



～プレスを究めて、プレスを越える～

会社概要

- **当社の製品**
  - ・車体プレス製品、トランスミッション用製品、樹脂プレス製品を生産
  - ・売上構成比:  
車体プレス製品84%、トランスミッション製品14%
- **国内大手メーカーと取引**
  - ・国内大手自動車メーカー  
日産、ホンダ、マツダ、スバル、スズキ、ダイハツ等に当社製品を出荷
- **沿革、業界内の位置づけ、等**
  - ・1998年に山川工業と大和工業が合併し、発足
  - ・自動車用プレス部品の同業8社中、営業利益、経常利益は1位、売上高2位(2018年3月31日現在)
  - ・米州・欧州・アジアの3極にグローバルに拠点を展開  
海外売上比率:68.3%、国内売上比率:31.7%(2017年度)

中期経営計画

- **経営理念: プレスを究めて、プレスを越える**
  - ・目指すべき企業の姿
    - ①市場ニーズを先取りした技術開発型企業
    - ②競争力No.1を維持するコスト開発型企業
    - ③自動車産業構造変化に対応したグローバル戦略企業
- **経営の重要な4つの課題と取り組み**
  - ①グローバルな生産基盤の活用・強化:  
9カ国16拠点で生産基盤の更なる強化
  - ②技術開発の推進:  
新製品・新技術の開発、外部との共同研究拡充
  - ③業界トップ水準の競争力:コスト競争力と品質向上
  - ④ESG投資等を意識した企業行動
- **中期経営目標**
  - ・売上高は着実な成長を持続し、営業利益率8%維持
  - ・2020年度売上高3,300億円、営業利益265億円

強み、成長戦略

- **成長戦略のポイント**
  - ①**電動化(EV化)対応**
    - ・EV化進展で、当社強みである軽量化技術(ハイテン・ホットスタンプ)の採用部位が拡大
    - ・当社の精密プレス技術を生かしたEV部品を開発
    - ・「日産リーフ」バッテリーケース生産ノウハウを活用し、バッテリーケース受注拡大を狙う
  - ②**ルノー・日産・三菱連合への対応**
    - ・同連合は共通プラットフォーム(フレームを含む基本部品の一連の組み合わせ)の使用を増やす意向
    - ・共通プラットフォーム車向け部品受注が非常に重要
    - ・日産の全乗用車については、今後も確実な受注をグローバルで狙い、ルノー・三菱向けでは共通プラットフォーム車中心の受注を目指す
  - ③**新規拡販の推進**
    - ・独立系の自動車部品メーカーとして積極的な拡販活動により多くの自動車メーカーより受注
    - ・今後、各地域、各事業で受注拡大を狙う

株主還元とCSR活動

- **継続的な配当・株主優待制度の実施**
  - ・配当金は1998年度の5円から、2017年度には55円まで上昇。2018年度は55円を計画
  - ・株主様に中長期に当社株式を保有していただくため、長期保有優遇の株主優待制度を継続実施
  - ・保有株式数と期間に応じ、年1回ポイントを贈呈。ポイントに応じて、オリジナルカタログから好きな商品選択可能
- **株主懇談会を開催**
  - ・株主総会終了後に、役員との株主懇談会を開催(2018年6月21日(木)新横浜プリンスホテル)
  - ・株主総会出席の株主にお土産を用意
- **JPX日経中小型株指数に選定**
  - ・初年度から「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄(全200銘柄)に選定(2017年3月13日～)